



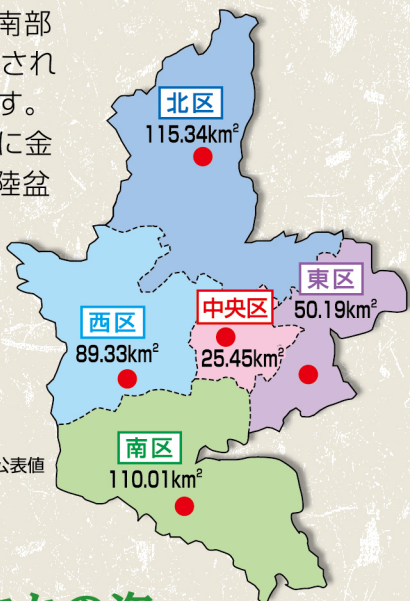
位置及び地勢

熊本市は、九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分に位置し、面積は390.32km²です。

地勢は、金峰山を主軸とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪山群によってできた丘陵地帯、南部は、白川の三角州で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気候条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

● 区役所の位置
面積：国土地理院公表値



めざすまちの姿



各区の人口です！

人口

明治22年、市制施行当時約4.3万人（明治22年12月31日現在）であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し約63万人となりました。

その後、平成20年10月6日には富合町と、平成22年3月23日に植木町、城南町と合併し、市域を拡大した新「熊本市」は平成24年4月1日、約74万人、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へ移行しました。

	人 口			世 帯
	総計	男性	女性	
中央区	187,002人	88,486人	98,516人	102,703世帯
東 区	190,243人	90,245人	99,998人	83,668世帯
西 区	90,512人	42,574人	47,938人	41,368世帯
南 区	132,000人	62,215人	69,785人	52,709世帯
北 区	138,187人	65,580人	72,607人	58,560世帯
計	737,944人	349,100人	388,844人	339,008世帯

令和6年1月1日現在（熊本市推計人口）

「上質な生活都市」（熊本市第8次総合計画：令和6年度～令和13年度）

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽んでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。

～Ⅱ 都市整備の方針～

1. 都市整備の方針における基本的視点

「持続可能な都市構造への転換」

2. 都市空間の構成方針

「多核連携型の都市空間」

3. 都市の形成方針

- ① 自然と都市空間が調和した均整の取れた都市の形成
- ② 高次都市機能などの維持・集積
- ③ 「10分・20分構想」等の新たな広域道路ネットワークの形成
- ④ 「森の都くまもと」の復活と定着